

店頭に並んだ7日にかゆにして食べる「春の七草」＝6日、那覇市の天久りうぼう



無病息災願い

きょう七草

菜。本土の風習で、正月料理で疲れた胃を休める意味もある。

7日は五節句の

同店では4日から計30

でる
NIE

一つ「人日」で「七

0.ハックを販売している。

草」の日。七草がゆ

青果担当の又吉賢治マネジ

を食べて1年の無病息災

ヤ(34)は一県内でも年々

を願う。那覇市の天久りう

需要は増えている。七草を

ぼうでは6日、目にも鮮や

食べれば年中病気をしな

かな春の七草を買い求める

くて済むという言い伝え通

客の姿が見られた。

り、自分もおととしぐらい

春の七草はセリ、ナスナ、

から食べるようにしてい

ゴギヨウ、ハコベラ、ホトケ

る。あした(7日)も食べ

ノザ、ススナ、ススシロの若

ます」と話した。